

【編集後記】

本号は「マネタリーベース膨張策という面で共通する日中の現在の金融政策が持つ問題点に焦点を当て、共通する課題を抽出することとし、その成果を内外に発信すること」を目的とする、2014年1月24日愛知大学車道校舎にて開催された「日中金融問題ワークショップ」の記録である。すでにワークショップ開催から一年以上経過しているが、中国金融の特殊性をめぐる基層的分析視角も検討対象としているため、その後の情勢の変化を考える上でも有意義な記録となっているはずである。研究機関としての大学は、動きの目紛しい個別状況から一定の観察距離を以て理論上の諸問題をも含め中長期的な安定したまなざしの構築が求められることが多い。それを踏まえながらも、世界各地で戦争状況の絡み合う諸情勢の展開するなかで金融市場動向から目を離すことのできない昨今、人間の理性と欲望の拮抗するベクトルがどこへ向かうのか、ますます緊張して注視していかなければならないだろう。(N)